

検査日：平成 年 月 日

自主検査記録書 (がいし)

支持物番号	
がいし吊型	
水平角度	

工事件名： _____

がいし装置記録

		若番側	I吊・V吊	老番側
1号線	がいし品番(JIS記号)			
	がいし個数	個 × 連	個 × 連	個 × 連
	がいし装置種類			
2号線	がいし品番(JIS記号)			
	がいし個数	個 × 連	個 × 連	個 × 連
	がいし装置種類			

自主検査項目

項 目		1 L 結果	2 L 結果	特 記 欄	
がいし	がいしの種類	種類に間違いはないか	有・無	有・無	
	がいしの個数	個数に間違いはないか	有・無	有・無	
	コッターピンの差込み方向	差込み間違いはないか	有・無	有・無	
	ボールソケット懸垂がいし割りピン	挿入不足はないか	有・無	有・無	
	マークの位置	マークの位置に問題はないか	有・無	有・無	
	ヒビ・割れ	ヒビ、割れはないか	有・無	有・無	
	すり傷・打ち傷・異物の付着	すり傷、打ち傷、異物の付着はないか	有・無	有・無	
	識別がいしの取付位置	取付位置に間違いはないか	有・無	有・無	
がいし金具	金具の組合せ	組合せに間違いはないか	有・無	有・無	
	がいし装置の流れ(懸垂装置)	がいし装置の流れはないか	有・無	有・無	
	変形・傷・異物の付着	変形、傷、異物の付着はないか	有・無	有・無	
	割りピンの取付	154kV以下 開き(45度×2)	開きに過不足はないか	有・無	有・無
		275kV以上 巻付	取付に間違いはないか	有・無	有・無
	ボルト・ナットの向き	向きに間違いはないか	有・無	有・無	
	懸垂クランプの締付トルク	トルクの過不足はないか	有・無	有・無	
	風音防止キャップの取付	取付に間違いはないか	有・無	有・無	
	アークホーンの取付	取付に間違いはないか	有・無	有・無	
	インパルスホーンの取付	取付に間違いはないか	有・無	有・無	
	インパルスホーンの締付トルク	トルクの過不足はないか	有・無	有・無	

処置・確認記録

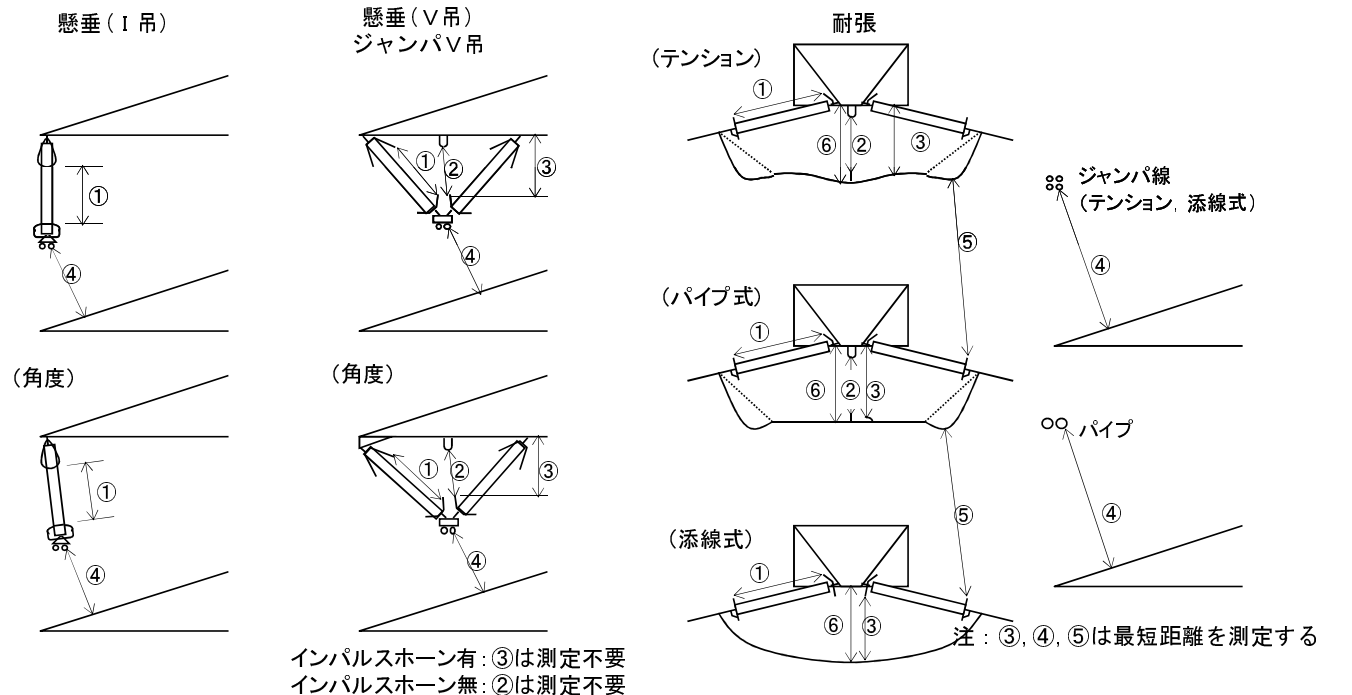
年.月.日	検査者氏名	内 容	確認者
(全体評価・コメント)			現場代理人サイン

絶縁間隔測定記録

測定箇所	1 号 線						2 号 線									
	1 番 線		2 番 線		3 番 線		1 番 線		2 番 線		3 番 線					
	若 番	老 番	若 番	老 番	若 番	老 番	若 番	老 番	若 番	老 番	若 番	老 番				
ホーン間隔	①がいし連ホーン※1															
	②インパルス(支持がいし)ホーン	測定値														
		気温(°C)														
ジャンパわたり線長さ調整量(min=0)	端子位置	上	内													
			外													
		下	内													
			外													
インパルスホーン調整量																
クリアランス	③ジャンパ又はライン側ホーン～上部アース間※2															
	④ジャンパ又は電線～下部アース間※2															
	⑤ジャンパ～下部ライン側ホーン※2															
⑥ジャンパ深さ																
設計値	①がいし連ホーン間隔		②インパルスホーン間隔		③クリアランス(標準絶縁間隔)		④クリアランス(標準絶縁間隔)						⑤クリアランス(最小相間絶縁距離)		⑥基本的に標準絶縁間隔の1.2倍であるが、②～⑤のクリアランスを確保し現地条件に基づき決定する。	
	注例: 66kV避雷がいし箇所=710mm、標準絶縁間隔=750mm以上、最小相間絶縁間隔=650mm以上															
	(避雷がいしホーン間隔=360mm、小ギャップホーン間隔=105mm)															

※1: V吊の内側は若番, V吊の外側は老番に記載する。

※2: 測定値が154kV以下で3000mm以上の場合は「3000以上」, 275kVで4000mm以上の場合は「4000以上」と記載する。



インパルスホーン有: ③は測定不要
インパルスホーン無: ②は測定不要